

明治2年に初点灯した洋式灯台

伝えたい千葉の産業技術 100 選

登録番号	第059号
名称（型式等）	野島埼灯台
所在地	南房総市白浜町白浜 630
点灯年	明治2年（1870）年12月18日

選定理由

房総半島の最南端の岬に立つ大型灯台です。鉄筋コンクリート造、基部の外径は6.8m、高さは29mあります。灯塔の平面は八角形、灯室の平面は円形で、外壁は白色塗装、内部の螺旋階段で昇降する構造です。

この灯台は、慶応2（1866）年にアメリカ、イギリス、フランス、オランダの4カ国と結んだ「改税約書」（いわゆる「江戸条約」）で江戸幕府が設置を約束した観音埼（神奈川県横須賀市）など計8箇所の灯台の一つです。明治2（1869）年1月に点灯した観音埼灯台に続き、同年12月18日（1870年1月19日）※に点灯しました。当初の灯台は、フランス人技術者フランソワ・レオンス・ヴェルニーの設計によるレンガ造りでしたが、大正12（1923）年の関東大震災で倒壊しました。大正14（1925）年に、鉄筋コンクリート造、八角形で再建されました。その後も太平洋戦争で被害を受けましたが修復され現在に至っています。

東京湾へ出入りする船舶の安全に寄与するとともに、灯台の周辺は南房総国定公園となっており、地域のシンボルとして親しまれています。

平成10（1998）年には「日本の灯台50選」に選ばれ、平成24（2012）年には国の登録有形文化財（建造物）に登録されています。

※明治5年12月2日までは天保暦（太陰太陽暦）を使用していたため、いわゆる西暦（グレゴリオ暦・太陽暦）とのずれがありました。このため明治2年は11月29日までが西暦1869年、11月30日からは1870年となります。



全景



和文銘板



仏文銘板

協力：千葉海上保安部

参考資料：「野島埼灯台のあゆみ 野島埼灯台 150 年の軌跡」千葉海上保安部交通課